



2024年3月期 決算説明会

決算概要

- 連結損益計算書
- 営業利益の増減要因
- 連結業績の推移
- 連結業績の四半期推移
- 各セグメントの事業内容と売上構成割合
- 各セグメントの所在地別損益
- 各セグメント売上高の所在地別割合
- 営業外損益・特別損益
- 設備投資の状況
- 研究開発の強化
- 連結貸借対照表
- 連結キャッシュ・フロー
- 配当方針と株主還元
- 来期業績予想と中計目標の達成見込み
- 企業価値の向上

Vision2030と中期経営計画の達成に向けた取り組み

- Vision2030実現に向けた取り組み
- リージョナル経営の推進体制
- グローバル研究開発体制の強化
- 持続的成長に向けた基盤作り
- 変革への挑戦 ～ Challenge for Change ～
- 当社技術の様々な表面への適用例
- 資本効率の向上
- 当社グループの重要課題への取り組み

参考資料

- 業績ハイライト

2024年3月期 決算概要

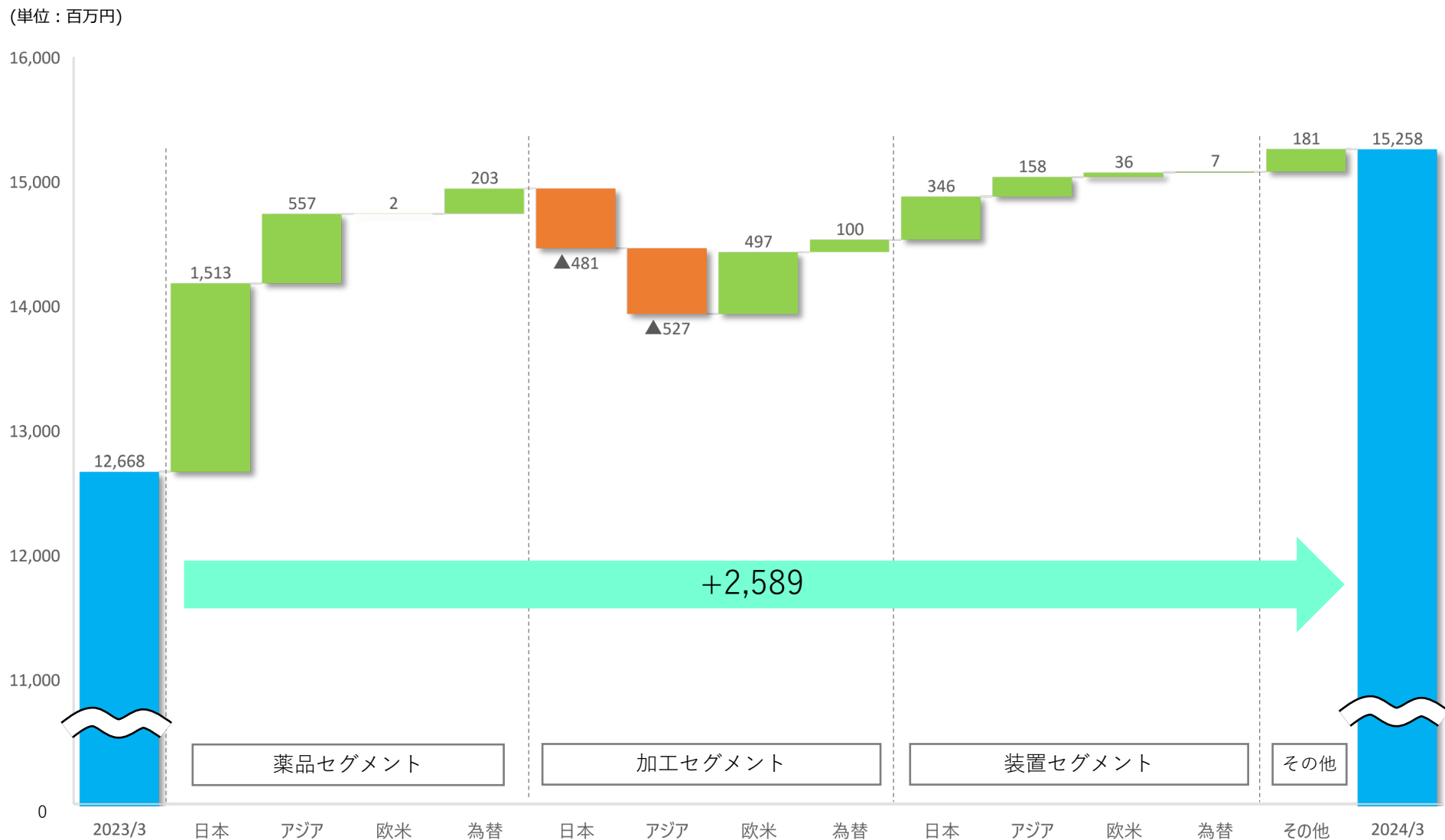
連結損益計算書

(単位：百万円)

項目	2023/3	2024/3	増減	増減率	
売上高	119,177	125,085	+5,907	+5.0%	主要顧客の生産回復に伴い全セグメントで増収
営業利益	12,668	15,258	+2,589	+20.4%	値上げ効果等により営業利益率が改善
経常利益	16,625	19,945	+3,320	+20.0%	営業外収益 5,527百万円（持分法利益他） 営業外費用 839百万円
親会社株主に帰属 する当期純利益	9,973	13,194	+3,221	+32.3%	特別利益 1,501百万円（投資有価証券売却益他） 特別損失 511百万円
1株当たり利益	86.10円	114.43円	-	-	
総資産経常利益率	7.1%	7.9%	-	-	
自己資本利益 (ROE)	6.1%	7.5%	-	-	
期中平均レート (USD)	131.43円	140.56円	-	-	※2023/1～2023/12の期中平均換算レート

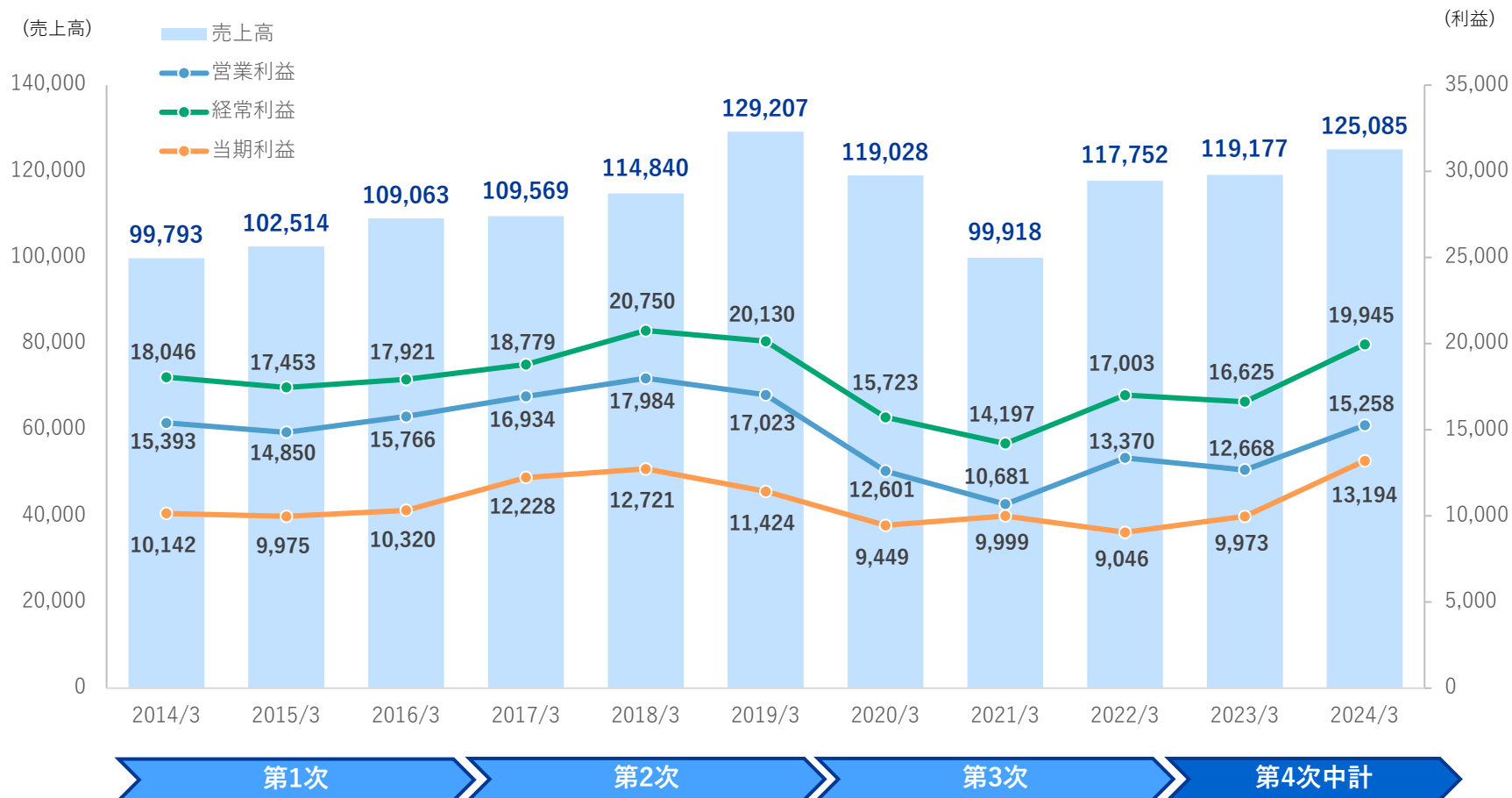
- 海外売上高比率（日本からの輸出を含む）：46.4%
- 為替換算による影響：売上高 約+2,904百万円、営業利益 約+308百万円

営業利益の増減要因



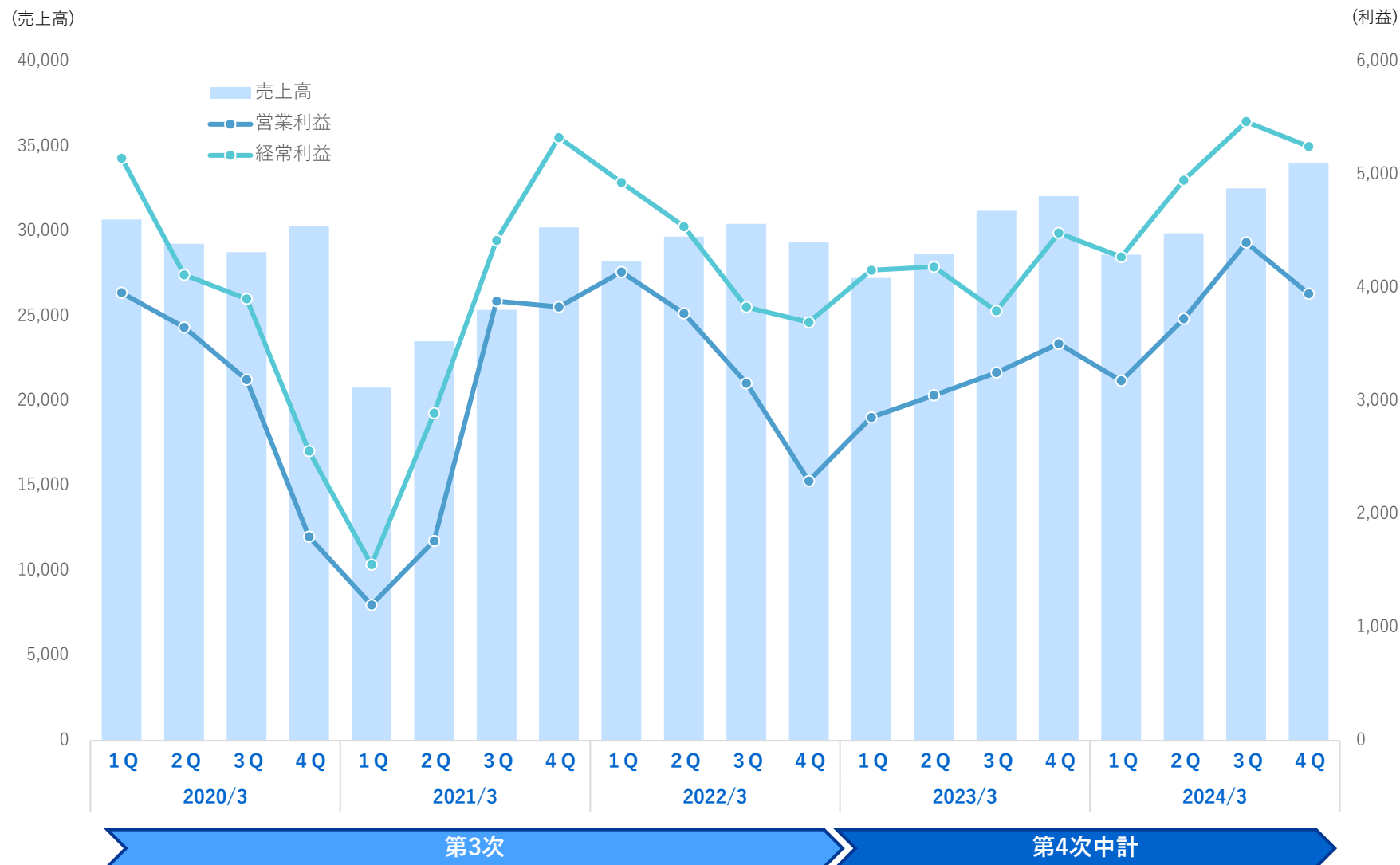
連結業績の推移

(単位：百万円)



連結業績の四半期推移

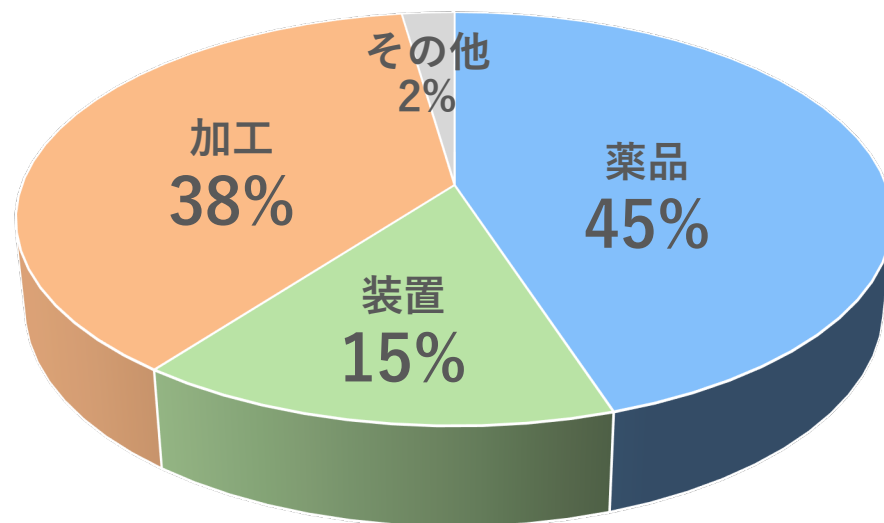
(単位：百万円)



各セグメントの事業内容と売上構成割合

セグメント	主な事業内容
薬品	● 塗装下地 ● 金属防錆 ● 潤滑被膜 ● 圧延油 ● 防錆油 ● 無電解Niめっき液 ● その他機能性被膜薬剤
装置	● 前処理装置、電着装置 ● 排水処理装置 ● 塗装装置・ロボット ● 塗装ブース・空調設備 ● 粉体塗装 ● コンベヤシステム ● その他規格品・消耗品
加工	● 化成処理 ● 塩浴軟窒化 ● ガス浸炭・浸炭窒化 ● ガス軟窒化 ● 無電解Niめっき ● 固体潤滑 ● その他加工処理
その他	● 建物のメンテナンス工事 ● 医療機器 ● その他

2024年3月期



連結売上高
125,085百万円

各セグメントの所在地別損益

(単位：百万円)

		売上高			営業利益		
		2023/3	2024/3	増減	2023/3	2024/3	増減
	日本	30,529	32,215	1,685	3,480	4,994	1,513
	アジア	21,481	23,046	1,564	3,268	4,010	742
	欧米	899	1,008	108	227	247	19
	セグメント間売上等	1,308	1,402	93	695	810	114
	薬品	54,219	57,671	3,452	7,672	10,062	2,389
	日本	5,885	8,566	2,681	-334	11	346
	アジア	9,936	9,298	-637	-21	137	159
	欧米	969	1,284	314	32	74	41
	セグメント間売上等	608	470	-137	315	303	-12
	装置	17,399	19,620	2,221	-8	527	535
	日本	25,848	25,690	-157	4,351	3,870	-481
	アジア	12,700	12,642	-58	1,981	1,551	-430
	欧米	8,194	8,489	295	-459	41	500
	セグメント間売上等	49	41	-7	212	261	49
	加工	46,792	46,864	71	6,086	5,724	-362
その他		2,791	2,877	86	113	90	-22
調整		-2,024	-1,948	75	-1,196	-1,146	49
合計		119,177	125,085	5,907	12,668	15,258	2,589

(注) 各セグメントの売上高及び営業利益は、セグメント間の内部売上高及び振替高を含みます。

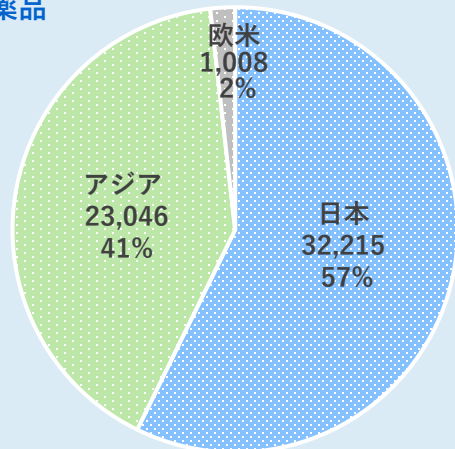
- 全セグメントにおいて、主要顧客の生産回復により、緩やかな回復基調で推移
- 営業利益合計は前年比2,589百万円増加
 - ✓ 薬品セグメントでは、原材料価格の値上がりに伴う販売価格の値上げが進み、利益率が改善
 - ✓ 装置事業も、前期の赤字から黒字に改善
 - ✓ 加工セグメントでは、エネルギー価格の上昇などによって利益率が低下し、営業利益が減少

各セグメント売上高の所在地別割合

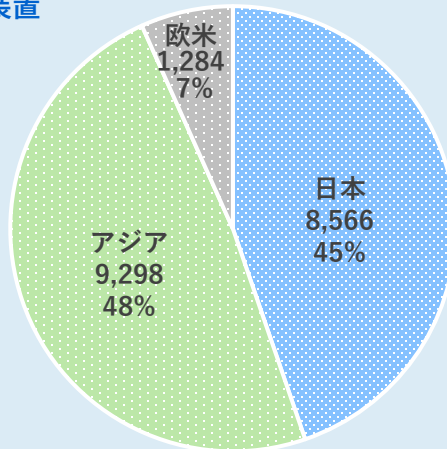
連結子会社

(単位：百万円)

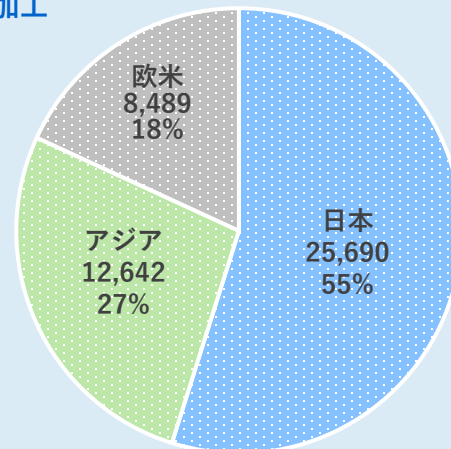
薬品



装置

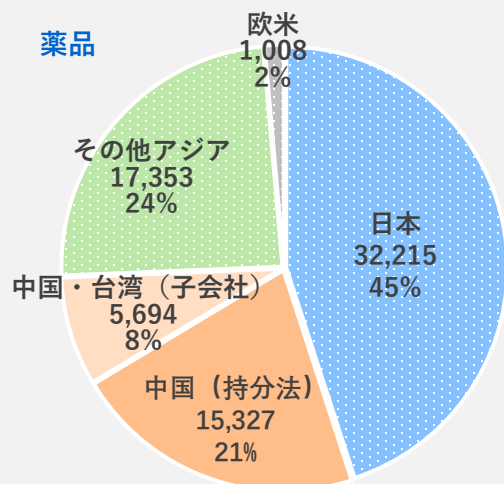


加工



(単位：百万円)

薬品



← 中国の持分法適用関連会社を含めた場合

営業外損益及び特別損益

- 受取利息・受取配当金に加えて、国内及び中国の関連会社に対する持分法による投資利益及び受取技術料などを計上した結果、経常利益は19,945百万円となりました。
- 特別利益1,501百万円（うち投資有価証券売却益1,069百万円）、特別損失511百万円（うち固定資産除売却損312百万円）などを計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は13,194百万円となりました。

（単位：百万円）

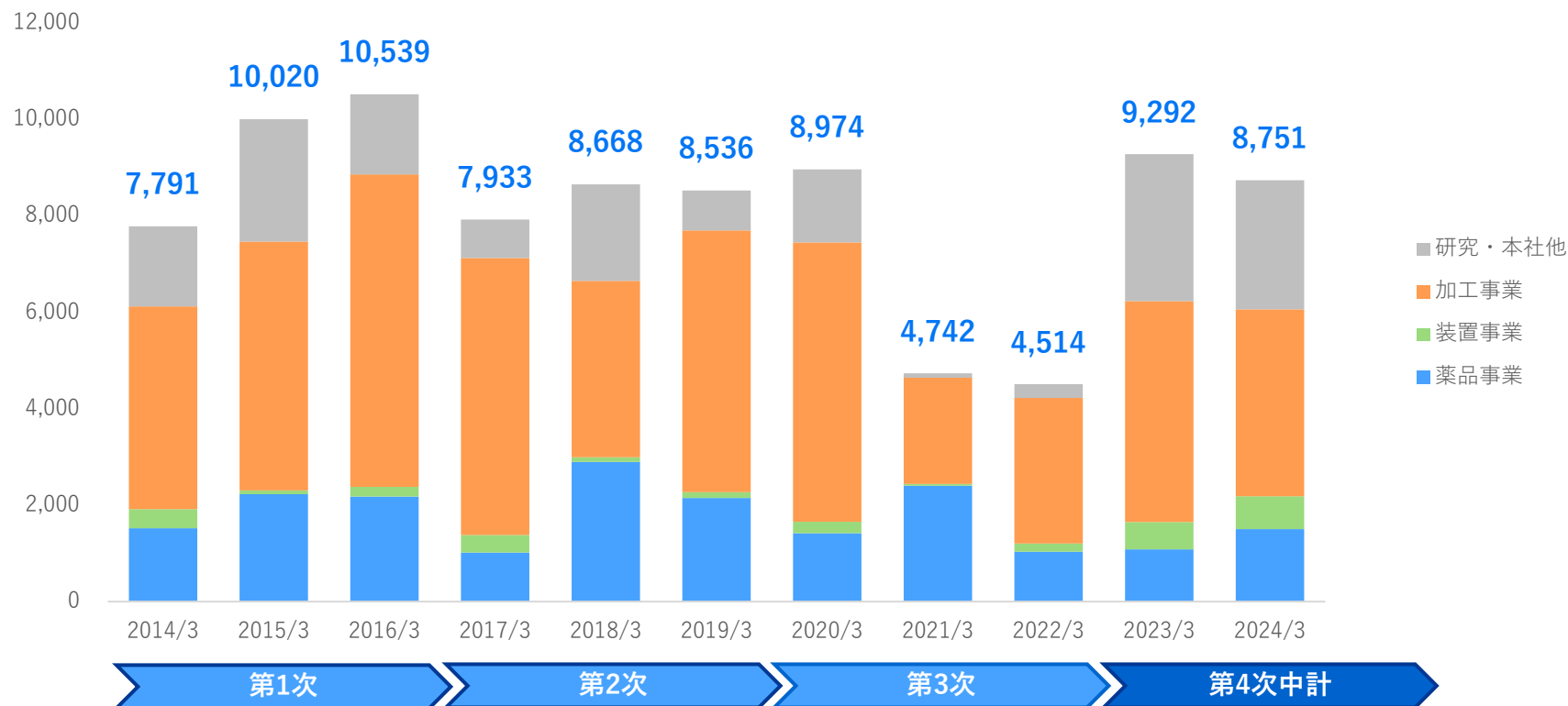
	2023/3	2024/3	増減
営業利益	12,668	15,258	+2,589
営業外収益合計	4,685	5,527	+841
受 取 利 息	427	786	+358
受 取 配 当 金	556	655	+98
受 取 技 術 料	638	795	+156
持分法による投資利益	983	1,176	+192
そ の 他	2,078	2,113	+35
営業外費用合計	728	839	+110
支 払 利 息	19	12	-7
そ の 他	709	827	+117
経常利益	16,625	19,945	+3,320
特 別 利 益	945	1,501	+556
特 別 損 失	942	511	-430
税金等調整前当期純利益	16,628	20,935	+4,307
法 人 税 等	4,465	5,407	+941
非支配株主に帰属する当期純利益	2,189	2,333	+144
親会社株主に帰属する当期純利益	9,973	13,194	+3,221

中国・台湾地域からの収益

	2023/3	2024/3	増減
営 業 利 益	1,065	688	-377
受取技術料	236	239	+3
持分法利益	466	621	+155
合計	1,767	1,548	-219

設備投資の状況(有形及び無形固定資産の増加額)

(単位：百万円)



- 設備投資はコロナ禍前の水準に回復
- 通常の保守に加えて、工場の自動化・省人化など、持続的成長に向けた基盤作りのための投資を実行
- 2025年の開所に向けて、総合技術研究所の拡張工事を実施中
- 九州新工場の建設に向けて準備中

研究開発費の推移

(単位：百万円)



研究開発テーマの拡充

- 総合技術研究所の拡張（2025年開所予定）
～最新の分析装置や新たな実験設備の導入～
- EV化や次世代自動車向け技術の開発
- 医療など新規分野の開拓に向けた技術開発の強化
- 海外現地ニーズに適合した技術開発



- 総合技術研究所には130名超が在籍しており、約20億円を継続的に研究開発に投資
- 当社コアテクノロジーを利用し、金属防錆処理以外の様々な技術開発
- 環境対応型製品の開発(クロムフリー、リンフリー、スラッジ削減、廃液処理負担軽減など)
- CO2削減や省エネなど、環境に貢献する表面処理技術の開発
- 医療機器など新規分野への参入（2023年2月に、第一種医療機器製造販売業を取得）

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2023/3	2024/3	増減
流動資産	128,576	146,511	+17,935
固定資産	107,957	123,307	+15,350
有形無形固定資産	64,977	68,579	+3,602
投資その他の資産	42,980	54,727	+11,747
資産合計	236,534	269,819	+33,285
流動負債	30,693	38,710	+8,017
固定負債	9,448	11,223	+1,774
負債合計	40,141	49,933	+9,792
純資産合計	196,392	219,885	+23,493
株主資本	150,419	159,048	+8,629
その他包括利益	15,852	28,098	+12,245
非支配株主持分	30,120	32,738	+2,618
負債純資産合計	236,534	269,819	+33,285
自己資本比率	70.3%	69.4%	

主な増減

現金預金の増加	+13,795
設備投資による増加	+8,967
減価償却による減少	-6,244
投資有価証券勘定の増加	+6,599
支払手形及び買掛金の増加	+2,126
未払法人税等の増加	+1,705
利益の計上による増加	+13,194
配当による減少	-4,621
自己株式の取得	-189
その他有価証券評価差額金	+4,514
為替換算調整勘定	+3,687

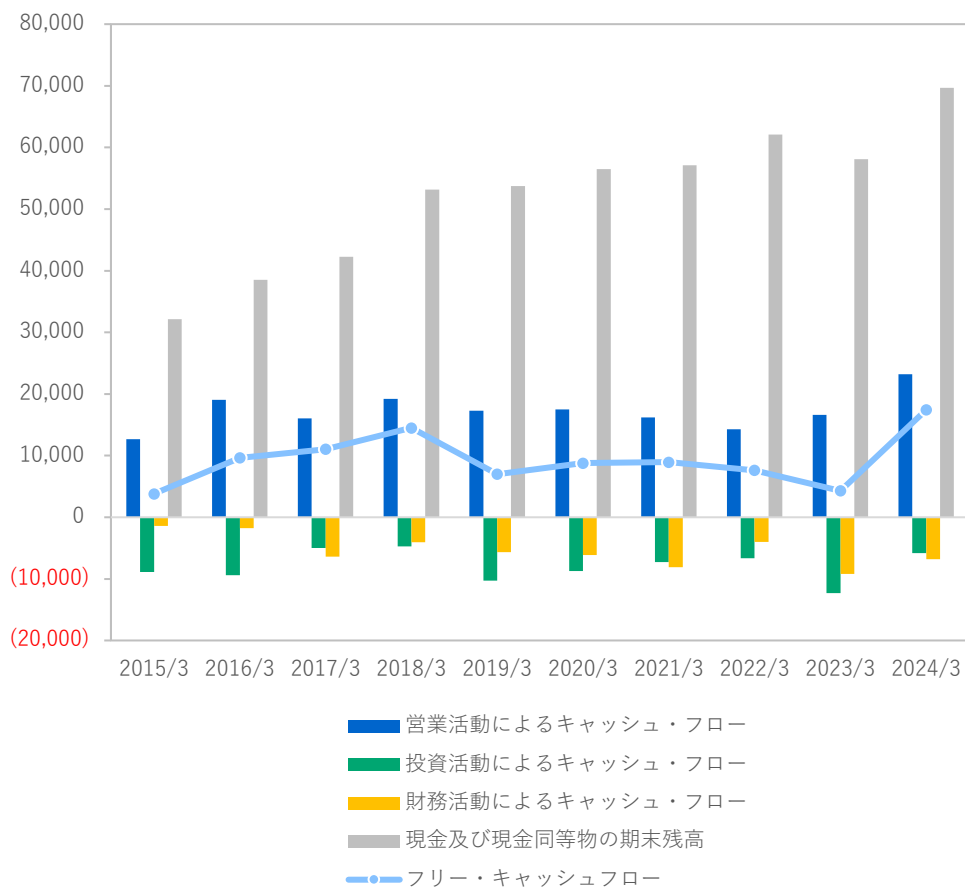
※自己資本比率＝（純資産合計－非支配株主持分）／負債純資産合計

■ 自己資本比率は安定的に推移

連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

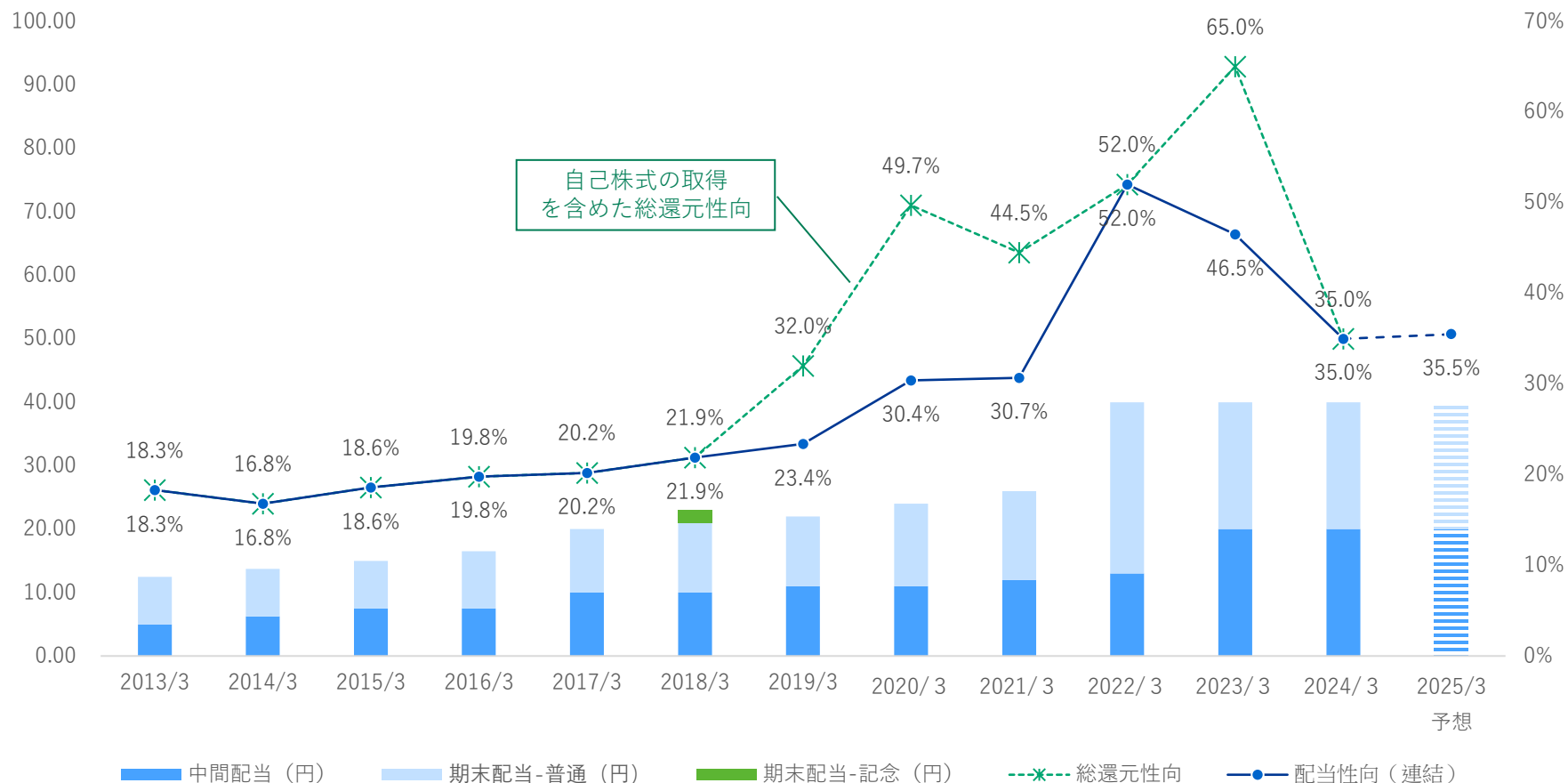
	2023/3	2024/3
営業活動によるキャッシュフロー	+16,608	+23,229
税金等調整前当期純利益	+16,628	+20,935
減価償却費	+5,927	+6,244
その他	-5,946	-3,950
投資活動によるキャッシュフロー	-12,300	-5,784
有形固定資産の取得による支出	-9,607	-7,422
その他	-2,692	+1,637
財務活動によるキャッシュフロー	-9,158	-6,778
配当金の支払	-5,613	-4,731
被支配株主への配当支払	-1,173	-1,260
自己株式の取得による支出	-1,845	-187
その他	-526	-598
現金及び現金同等物に係る換算差額	+864	+897
現金及び現金同等物の増減額	-3,985	+11,562
現金及び現金同等物の期首残高	62,083	58,098
現金及び現金同等物の期末残高	58,098	69,661



- 営業活動による増加に加え、資産の売却を進めたこと及び海外の現金同等物の為替評価による増加しており、期末残高は増加
- フリー・キャッシュ・フロー（「営業キャッシュ・フロー」－「投資活動によるキャッシュフロー」）はプラスで推移

配当方針と株主還元

- 安定的かつ継続的に配当を行うとともに、内部留保の有効活用によって株主価値を向上
- 配当については、業績動向、将来の事業展開に必要な内部留保の水準等を総合的に勘案し、連結配当性向30%程度を目安に決定
- なお、成長のための投資資金及び財務基盤の安定性がある程度確保されたと判断し、**当面の間は配当方針を上回る配当を実施**
- 将来の ROE など資本効率を高めるために、自己株式取得を機動的に実施



(注：総還元性向の予想値は未公表)

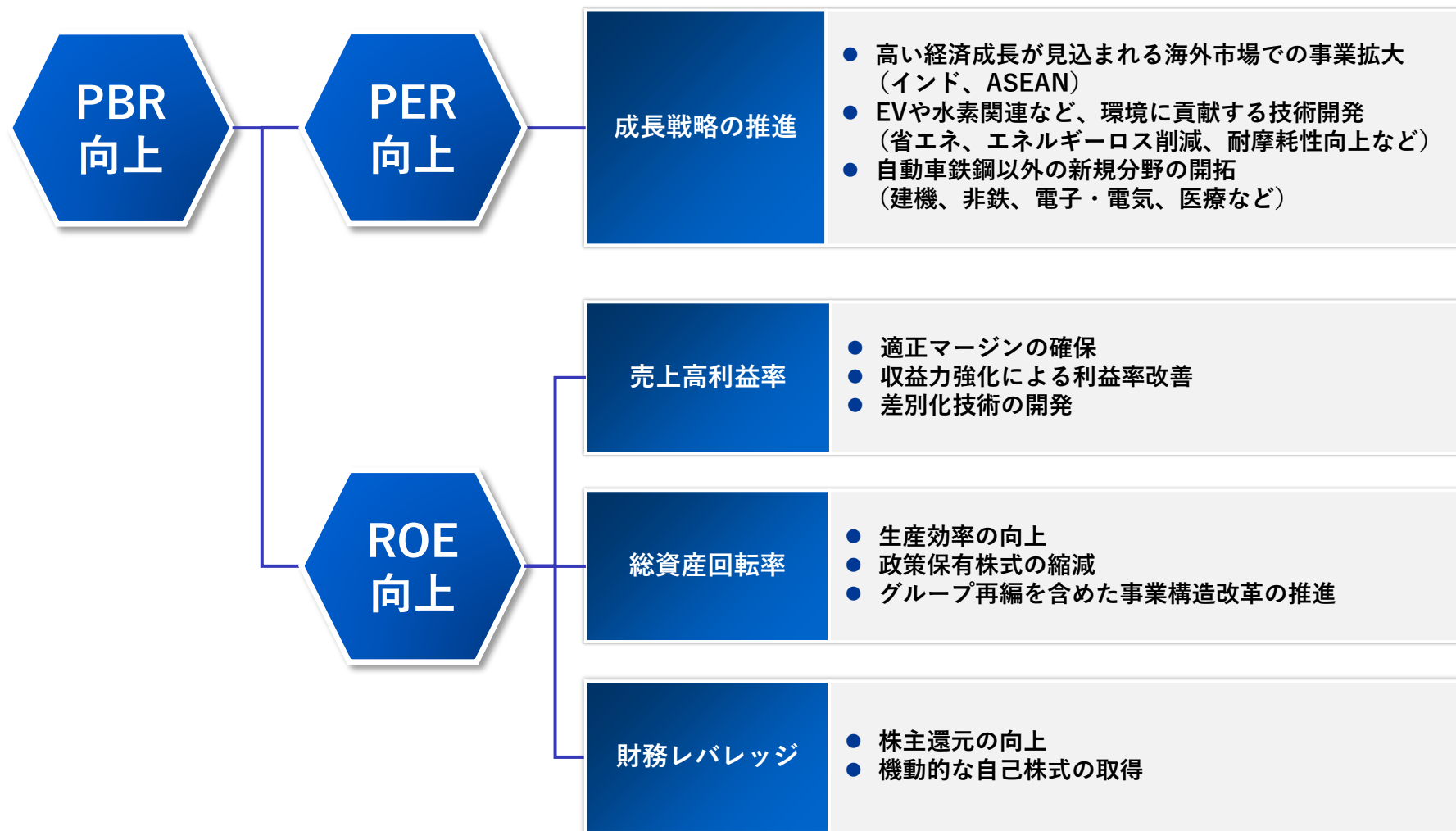
来期業績予想と中計目標の達成見込み

(単位：百万円)

	第4次グループ中期経営計画期間					B-A 前期との 差額	B-C 目標との 差額
	実績 2022/3	実績 2023/3	A 実績 2024/3	B 予想 2025/3	C 目標 2025/3		
売 上 高	117,752	119,177	125,085	132,000	130,000	+6,915	+2,000
営 業 利 益	13,370	12,668	15,258	16,500	16,900	+1,242	-400
経 常 利 益	17,003	16,625	19,945	20,500	19,500	+555	+1,000
親会社株主に帰属 する当期純利益	9,046	9,973	13,194	13,000	-	-194	-
営 業 利 益 率	11.4%	10.6%	12.2%	12.5%	13%以上	-	-
経 常 利 益 率	14.4%	13.9%	15.9%	15.5%	15%以上	-	-
ROE	5.8%	6.1%	7.5%	-	8~10%以上	-	-
想定レート(US\$)	109.80円	131.43円	140.56 円	148.00円	-	-	-

- 2024年3月期は、緩やかに売上が回復したほか、値上げや円安効果などもあり、増収増益。2025年3月期も、増収の見込みであり、営業利益は目標を下回るものの、売上高及び経常利益は、中計目標を達成する見込。
- 但し、原材料価格や光熱費の上昇などの影響により、営業利益率は目標を下回っており、適正なマージンを確保するための値上げ活動の推進や生産性の向上を強力に推進
- 加工事業の中心的な子会社であるパーカー加工株式会社を株式交換により完全子会社化することを決定
グループ・シナジーの最大化に向けて、グループ再編も含めた事業構造改革を推進

既存事業からの安定的なキャッシュフローの創出と
成長市場及び新規分野への参入拡大により、企業価値の向上を目指す！



Vision2030と中期経営計画 の達成に向けた取り組み

Vision2030実現に向けた取り組み

(単位：億円)

リージョナル経営によるグローバル事業拡大

脱炭素など環境関連のR&Dテーマの拡充

自動車、鉄鋼以外の新規分野の開拓

既存市場の深耕

事業ポートフォリオ拡充のためのM&A探索

将来
Vision2030
2,000億円

* 成長イメージ

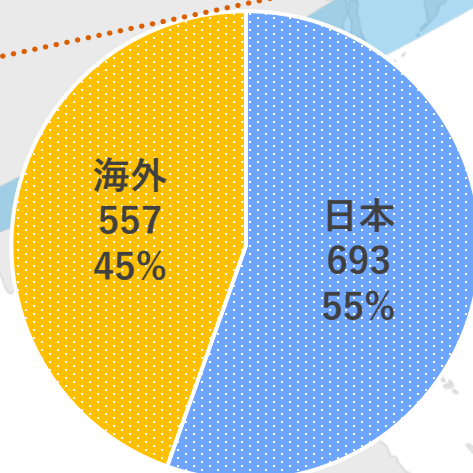
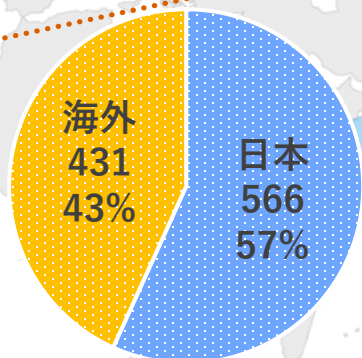
過去(10年前)

2014/3

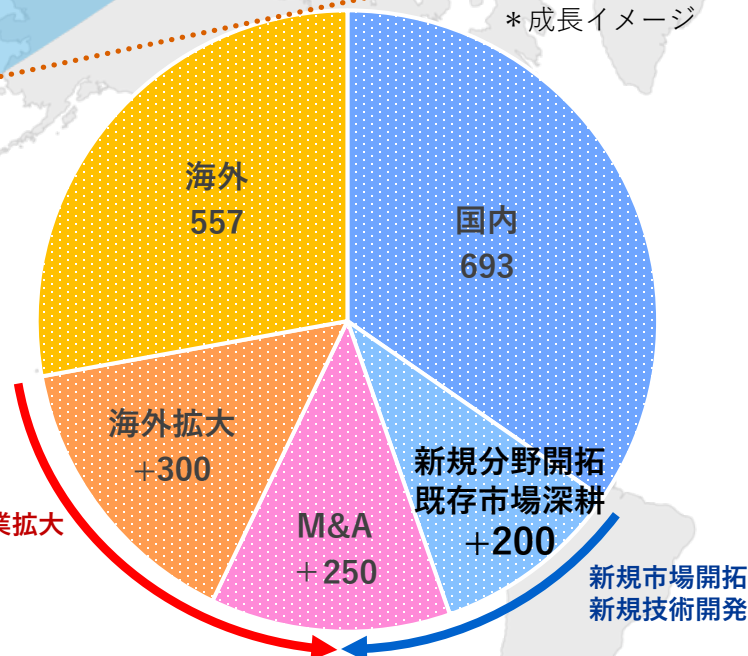
997億円

現在
2024/3

1,250億円



海外事業拡大



新規市場開拓
新規技術開発

第4次グループ中計

第5次

第6次

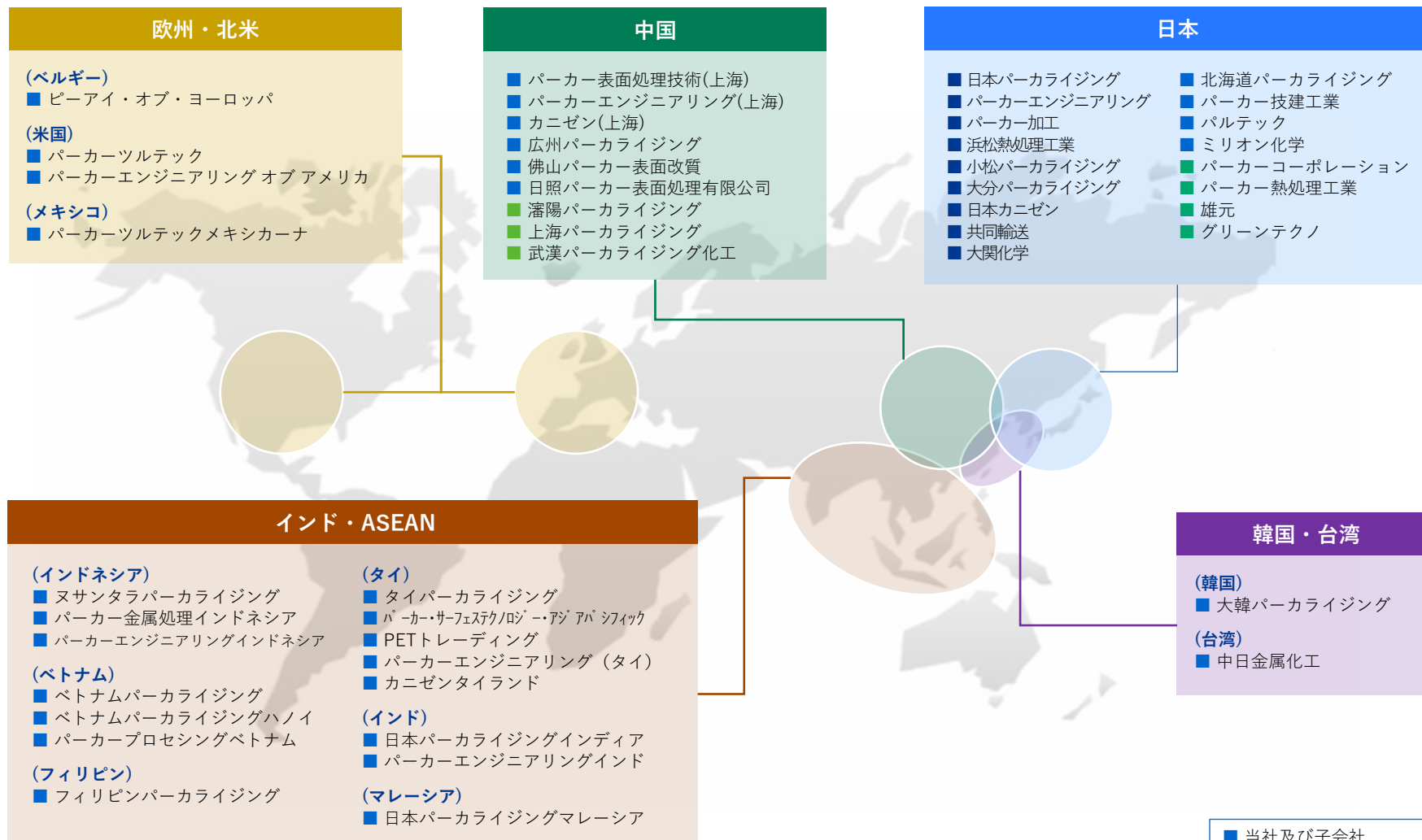
インド・ASEANをはじめとして、
高い経済成長が見込まれる地域において、
地域特性に合わせた戦略を進めることで、
更なる事業拡大とVision2030の達成を目指します！

- 国外市場を以下の4つに区分し、地域別に統括責任者を配置
～ ①インド・ASEAN、②中国、③韓国・台湾、④欧州・北米 ～
- 各リージョンに責任を持たせ、市場動向を的確にとらえた迅速な意思決定（権限移譲）
- マーケットインの視点で、各地域の顧客ニーズを把握し、製品・サービスに反映
- 各リージョンにおける経営目標を明確にすることで、損益管理を強化
- グローバル人材の育成と重用による人的経営力の強化

Think Globally & Act Locally

Of , For, and By the Local

グループ総合力を活かして、リージョナル経営を推進します！



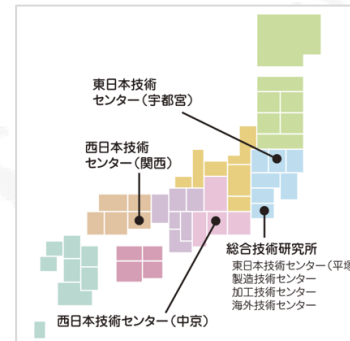
各リージョンのニーズに適合した迅速な技術開発

顧客に密着した技術サポート体制

パーカー表面処理技術(上海)有限公司



- 中国における研究開発拠点として、独自のR&Dテーマを選定
- 表面処理技術に関するコンサルティング及びマーケティングサービスを展開



総合技術研究所の拡張 (2025年 開所予定)

- 国内には技術センターを8拠点を配置し、お客さまにより近い場所でお客さまの要求性能・使用環境に応じた製品開発および技術課題のソリューションを提案
- 総合技術研究所を拡張し、CO2削減など、R&Dテーマの拡充に向けて、最新の分析機器や新たな実験装置を導入

パーカー・サーフェステクノロジー・アジアパシフィック (タイパーカライジング・ヘマラート工場内)



- ASEANにおける開発拠点として、独自のR&Dテーマを選定
- 原料調達、表面処理技術に関する技術コンサルティング及びマーケティングサービスを展開

持続的成長に向けた基盤作り

■ 脱炭素社会の実現に向けた環境関連のR&Dテーマの拡充

- ✓ EV化に対応した技術開発（導電性や絶縁性の付与、耐摩耗性や耐熱性の向上、より低歪な熱処理）や次世代自動車向け技術の開発（防眩処理、異材接合など）の強化
- ✓ 摺動性や絶縁性の向上、CO2削減や省エネなど、環境に貢献する表面処理技術の開発
- ✓ SDGsを意識した循環型経済に貢献できる3R技術の開発
- ✓ お客様の原料に、当社が有する密着性向上技術などを適用して、付加価値を高めるなど、異業種とのコラボレーションを積極的に推進

■ 自動車、鉄鋼以外の新規分野の開拓

- ✓ 建機、半導体、電子・電気、ライフサイエンス（医療機器、機能適合、衣食住、化粧品）など、自動車鉄鋼以外の分野の新規開拓の強化
- ✓ 新規事業シーズの発掘

■ 既存市場の深耕

- ✓ 横展開及び掘り起こしによる既存市場の深耕
- ✓ 国内外のグループ連携の強化

■ 事業ポートフォリオ拡充のためのM&A探索

- ✓ 既存市場のシェアアップ、新規技術の獲得、新規分野への参入など、様々な視点でM&Aを探索



EV



電子・電気



医療機器



絶縁性・耐熱性向上



電気メス



抗ウイルス・抗菌スプレー

変革への挑戦 ~ Challenge for Change ~

事業環境の変化に対応するため、既成概念やこれまでの慣習にとらわれない発想で、新規分野の開拓とビジネスプロセスの変革に果敢に挑戦し、新たな価値の創出に挑戦します！

新規市場・顧客の開拓

- インド・ASEANなど高い経済成長が見込まれる地域での事業拡大
- 電子・電気、医療など、自動車鉄鋼以外の新規分野開拓
- 既存市場の深耕
- 既存分野と新規分野の両分野で、M&Aや戦略的アライアンスを探索

新技術の開発

- EVや水素関連など、脱炭素社会に貢献する表面処理技術の開発
- 省エネ・高効率・エネルギーロス削減など、環境に貢献する表面処理技術の開発
- SDGsを意識した循環型経済に貢献できる3R技術の開発
- オープンイノベーションの推進、新規事業シーズ発掘

収益力の強化

- 工場ラインの省人化・自動化の推進
- グループ最適での生産体制の最適化
- IoT技術やAIを用いたDXの推進によるビジネスモデルの変革
- ホワイトカラーの生産性の向上

グループ経営の強化

- グループシナジーの最大化に向けた、グループ再編も含めた事業構造改革の推進
- 国内外グループ会社との人材交流の活性化

グローバル人材の育成

- 多様な人材の活躍推進
- グローバル人材の育成と重用

安全第一と品質向上

- 労災ゼロの実現と危険有害作業を削減するための設備投資の推進
- お客様から常に信頼され、喜ばれる製品とサービスを提供

当社技術の様々な表面への適用例

街を走る 車にも



ボディを錆から守り、自動車の耐久性を向上させています。

夜空に輝く 人工衛星にも



真空下でも有効な潤滑剤を開発し、人工衛星に採用されています。

世界の海を行く船にも



船体可動部に防錆効果を施し、海水から船を守っています。

海に架かる橋にも



防錆効果により、メンテナンス性と安全性を高めています。

建ち並ぶ高層ビルにも



免振ゴムの接着性を高め、構造物を地震から守っています。

普段よく見る アルミ缶にも



缶の表面と塗料との密着性を高め、缶の意匠性を高めています。

身近にある 家電にも



コンプレッサーの潤滑性を向上させ、冷蔵庫の長寿命化に寄与しています。

今使っている スマホにも



スマホの中にあるモーターの効率性を高め、消費電力を軽減しています。

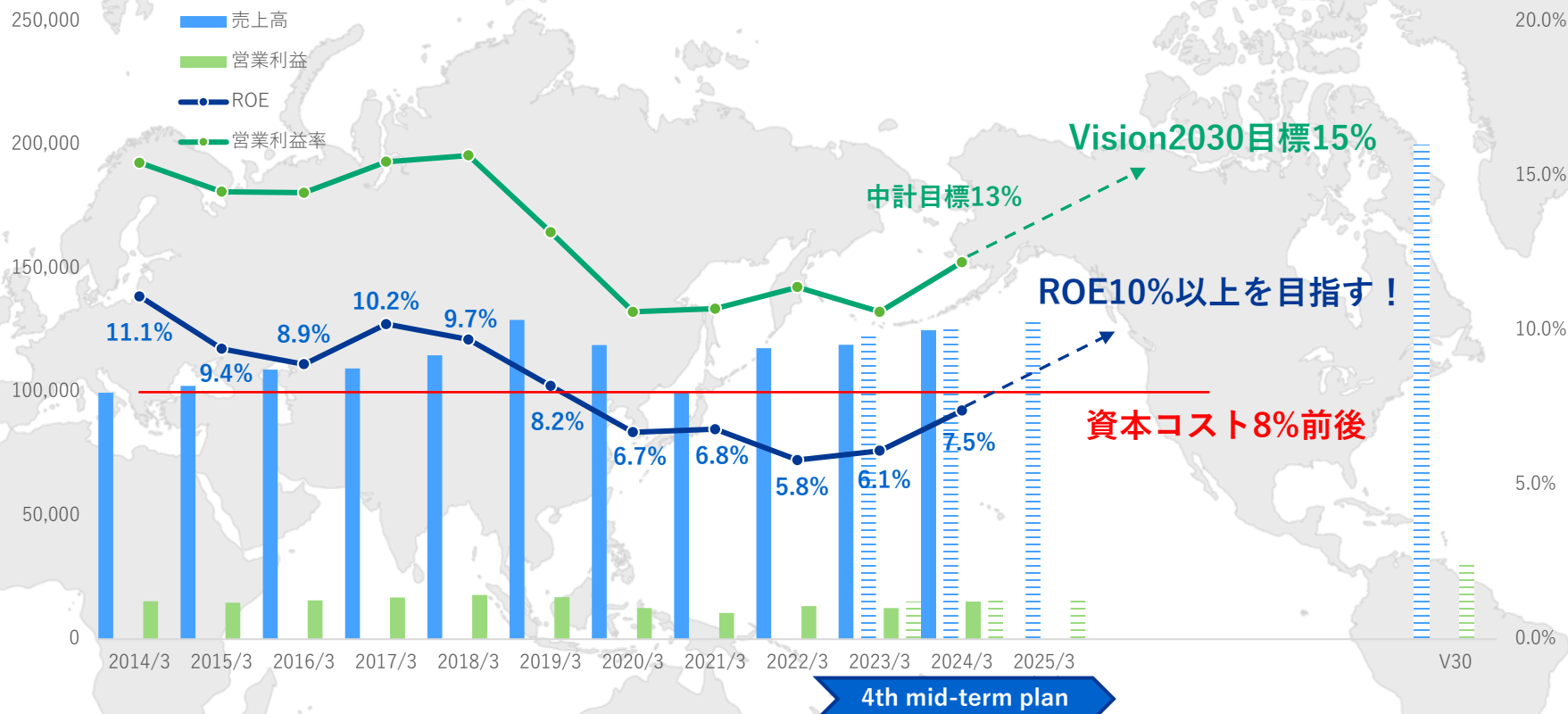
空を飛ぶ 飛行機にも



アルミ表面の耐食性を高め、過酷な飛行環境から機体を守っています。

グループ一体となってリージョナル経営を推進し、 収益力と企業価値の向上を目指します！

(単位：百万円)



収益力の強化と適切なBS管理により、ROE10%以上を目指します！

当社グループの重要課題への取り組み

持続可能な社会の実現に向けて、重要課題への取り組みをグループ全体で推進

重要課題（マテリアリティ）	主な取り組み
1 表面改質技術による豊かな社会の創出	●環境負荷低減ニーズに対応した製品の開発・販売 ●電気自動車向けの製品の開発・販売 ●自動車・鉄鋼以外の新規市場への表面改質技術の適用拡大
2 高付加価値の製品・サービスを世界のお客さまに	●金属防錆処理以外の分野における研究開発の推進 ●SDGsを意識した製品・サービスの開発 ●高品質な製品・サービスを提供するための品質管理及び品質保証体制の強化
3 現場で働く人たちの安心・安全衛生確保	●安全衛生環境活動のグループレベルでの推進 ●労働災害及び交通事故ゼロへの取り組み ●危険有害業務の削減や作業環境改善への継続的な取り組み
4 多様な価値観を尊重し“力”に変えられる企業文化の醸成	●女性・障がい者・外国人・中途・シニア等の採用促進 ●女性管理職比率の向上 ●多様な人材が活躍できる働き方、職場環境の整備
5 持続可能な社会の実現に向けた責任ある対応	●製品含有化学物質管理の徹底 ●グリーン調達方針のサプライヤー100%順守、エネルギー原単位削減への継続的な取り組み ●複社購買や事業継続計画(BCP)による安定調達及び安定供給への取り組み推進
6 誠実な企業であり続けるための継続的な取り組み	●グループガバナンス強化に向けた各社重要規程等の標準化 ●コンプライアンスに係る教育と啓発活動へのグループ全体での継続的な取り組み ●全てのステークホルダーとの緊密な関係の構築と協働

持続可能な開発目標(SDGs : Sustainable Development Goals)達成に貢献



(参考) 業績ハイライト

(単位：百万円)

	第1次			第2次			第3次			第4次中計	
	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3
売上高	99,793	102,514	109,063	109,569	114,840	129,207	119,028	99,918	117,752	119,177	125,085
営業利益	15,393	14,850	15,766	16,934	17,984	17,023	12,601	10,681	13,370	12,668	15,258
経常利益	18,046	17,453	17,921	18,779	20,750	20,130	15,723	14,197	17,003	16,625	19,945
親会社株主に帰属 する当期純利益	10,142	9,975	10,320	12,228	12,721	11,424	9,449	9,999	9,046	9,973	13,194
売上高営業利益率	15.4	14.5%	14.5%	15.5%	15.7%	13.2%	10.6%	10.7%	11.4%	10.6%	12.2%
売上高経常利益率	18.1%	17.0%	16.4%	17.1%	18.1%	15.6%	13.2%	14.2%	14.4%	13.9%	15.9%
総資産経常利益率	11.5%	9.9%	9.5%	9.7%	10.0%	9.2%	7.2%	6.5%	7.6%	7.1%	7.9%
自己資本利益率 (ROE)	11.1%	9.4%	8.9%	10.2%	9.7%	8.2%	6.7%	6.8%	5.8%	6.1%	7.5%
自己資本比率	59.5%	61.1%	61.5%	62.5%	62.9%	64.2%	66.1%	68.8%	70.0%	70.3%	69.4%

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、a) 経済状況、b) 為替レートの変動、c) 製品競争力、d) 法的規制、e) 知的財産保護の限界などが含まれます。ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載されている情報は、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関するご決定は、ご自身のご判断において行うようお願い致します。

Vision P 2030

あらゆる表面をカガクで変える